

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇札幌市の共通指標アンケート「振り返りを通して、自分の伸びや成長を感じることがある。」の項目で、肯定的な回答をした児童が80%を越え、R6年度と比較すると約10%（全校で40人程度）増加している。</p> <p>◇児童アンケート「学習を通して、『〇〇が上手になった。』『〇〇ができるようになった。』など、自分の成長を実感することができていますか。」の項目で、90%以上の児童が肯定的な回答をし、「できていない」の割合は前期から後期にかけて0%になった。 →以上二点から、R7年度は、目指す子ども像「自分の成長に気付く子どもの育成」に基づいて授業改善を行ってきた成果が表れたといえる。</p>
	<p>◇全国学力・学習状況調査の児童質問の結果から「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。」と回答していた児童の割合は、全国平均を下回っていた。</p> <p>◇札幌市の共通指標アンケート「自分が思っていることや感じていることを伝えている。」「自分の意見を進んで発言しようとしている。」の二項目で、肯定的な回答をした児童は70%を越えていたが、他の学習に関する項目と比べるとやや下回っていた。 →以上二点から、「考えを伝える」という点において課題が見られたため、R8年度の目指す子ども像や授業像の見直しを行った。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇札幌市の共通指標アンケート「人の役に立ててうれしいと感じることがある。」の項目で90%以上の児童が肯定的な回答をしており、昨年度からも増加傾向にある。学級での生活や異学年交流、各行事に取り組む中で、友達や他学年のよさを見付けて伝え合うという活動を大切にしてきた成果である。その一方で、「自分が必要とされていると感じる。」の項目については、昨年度から増加傾向が見られたが、未だ20%程度の児童が後ろ向きな回答をしている。自分のよさや可能性を認識する「自己承認」や「他者からの承認」の感度を高める教師の関わりや子ども同士の前向きな相互評価の機会づくりを、今まで以上に大切にしていける必要がある。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら課題を見付け、自ら学びを進め、自分の成長に気付くこと

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>◆1 目指す子ども像「自ら課題を見付け、自ら学びを進め、自分の成長に気付く子ども」</p> <p>◆2 目指す授業像「子どもが学びをつくる授業」〈サブテーマ〉子どもが発言したくなる授業</p> <p>(1) ◆1、2の実現を目指して、教職員が日常の授業改善に取り組み、互いの指導案を検討したり、授業について意見を交流したりする機会を設定する。 ・月二回の低中高ブロック部会 ・1、2学期中に一人一回の授業公開 ・外部の方を招いた授業検討会 → 札幌研事業（6月）、各ブロック一回の全校授業討議</p> <p>(2) 授業改善の視点を AAR サイクルの四つの段階に沿って定め、単元や題材といったまとまりの中で授業を構成する。また、今年度は「子どもが発言したくなる仕掛け」を四つの過程の中に意図的に位置付ける。</p> <p>(3) 指導案には、授業改善の意図を端的に表せるように、A3 サイズの紙面に単元構成と本時案、四つの段階毎の目指す子どもの姿と教師の手立てを記載する。</p>	<p>◆児童が『～したい』という意欲をもち、よりよい方法を考えて集団づくりを行い、変化を生み出した喜びを手応えとして感じられるように、以下の取組を行っていく。</p> <p>① 全校共通の生活のめあて「はくよう」の推進 ・全校朝会での生活指導 ・校内掲示やキャリアパスポートの改善</p> <p>② よりよい学校生活を目指した委員会の主体的な活動の推進 ・日常的な活動（お昼の放送や図書貸し出し、学校生活の情報発信など） ・イベント活動（運動や異学年交流の推進など） ・たてわり活動の企画、運営</p> <p>③ 子どものアイデアを基にしたクラブ活動の設立</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について</p> <p>◇(2)や②③ 児童が複数のツールの中から適当なものを自ら選択できるような環境を整備するとともに、各ツールの使用方法や利点などについて適宜指導の機会を設ける。 ◇発達段階に応じた ICT 端末活用スキル系統表を基に、児童自身が ICT 端末の使い方やできるようになったことを確認できるシートを作成し、適宜振り返りの機会を設ける。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

